

【議題 3】

**デジタル変革（DX）に係る令和 3 年度の取組状況並びに
令和 4 年度の事業取組一覧及び指標の設定について**

【行政のデジタル変革（DX）】令和3年度 主な取組状況

新しい価値

- 付加価値の高い行政サービスの提供
- 公務能率の向上

1 まず始めに実施すべき取組

項目	取組内容	成果・効果
業務の棚卸しとBPR	業務実態調査を実施 (※ 対象：本庁、一部出先機関)	県庁の約6割の業務がアナログ業務（紙を使用等）であり、今後のDX推進の足かせとなる懸念

2 行政サービスの向上に向けた取組

項目	取組内容	成果・効果
キャッシュレス決済の導入	県税収納の利便性向上	① 自動車税のクレジット収納に係る取扱期間の拡大 ② 自動車税のスマートフォン決済に係る種類の拡大

3 公務能率の向上に向けた取組

項目	取組内容	成果・効果
ペーパーレス化の推進	記者発表業務の見直し (「県政記者クラブ」への投げ込み)	① 年間で約4,000時間の業務時間の削減見込 ② コピー用紙代(約36万円)が削減見込
RPAの導入	定例的な支出(財務会計システム)の自動入力化(※ 本庁全体で運用開始)	年間で約962時間(58.6%)の業務時間の削減見込 (※ 本庁の全ての帳票をRPAで処理した場合)
AIの活用	AIを活用した「議事録作成支援システム」の全庁活用	年間で約1,187時間の利用時間(R3年度(2月末現在))

4 新型コロナウイルスへの対策を踏まえ加速させる取組

項目	取組内容	成果・効果
Web会議の拡充	Z o o mを活用した、会議や打合せ、予算関係ヒアリング	約4,670時間の会議等（予算関係ヒアリングを含む）を実施（R 3年度（2月末現在）） ⇒ 新型コロナウイルスの感染防止、移動時間の削減

5 1～4の取組を支える基盤整備

項目	取組内容	成果・効果
庁内ネットワークの無線化	本庁各所属の執務室（一部）への無線LANの導入	ペーパーレス化の推進（その場で画面を見ながら修正等の対応も可能）

～今後の取組の方向性～

- ◎ 付加価値の高い行政サービス、「誰もが行政手続をオンラインで行える社会」の実現に向けて、積極的に取り組みます。

【取組の中心となる項目】

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
県及び市町村の行政手続のオンライン利用率	48.2% (R 3年度)	80.0% (R 7年度)

- ◎ 行政手続のオンライン化やデジタル技術の活用等に向けて、内部業務のペーパーレス化を積極的に推進し、コピー用紙の購入量を7割削減します。

【令和4年度の重点取組項目】

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
コピー用紙購入量 (本庁（知事部局）)	40百万枚 (R 2年度)	12百万枚 (R 7年度)

【市町村支援・連携】令和3年度 主な取組状況

- 県は、市町村の実情に応じた支援や市町村との連携・協働等により、行政全体としてのデジタル変革（DX）を推進する。

1 市町村に求められるデジタル変革（DX）に係る支援等

項目	取組内容	成果・効果
職員の意識改革	市町村職員向け「デジタル変革推進研修会」を実施した。（計3回）	県DX推進基本方針及び県内市町村の優良取組事例の共有など、DXに係る機運醸成を図った。 参加者：のべ236名
AI・RPA等の利用推進・共同導入	市町村へICTの専門家を派遣し、デジタル化を推進するに当たって市町村が抱える課題の解決を支援した。	課題解決の支援を実施し、デジタル化を推進した。 補助事業数：18件 補助金額：27,000千円
	市町村がAI等の先端技術を活用し、行政課題の解決や住民サービスの向上及び働き方改革等を図るために実施する事業に対して支援した。	AI-OCR、RPA等の導入支援を実施し、行政のデジタル化を推進した。 補助事業数：17件 補助金額：22,000千円

2 先進的な取組の推進と横展開のための支援等

項目	取組内容	成果・効果
各市町村の実情と地域の特性に応じた支援等 （自治体行政スマートプロジェクト）	住民基本台帳（転入届）、固定資産税（課税台帳整備）、介護保険（要介護認定）を対象に最適な業務プロセスを検討し、県内データセンターを活用した共同利用を検証した。 （対象：会津13市町村）	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の課題把握 ・ICT技術に因らない業務効率化 ・RPA構築工数を先行構築自治体と比較し約70%削減

【地域のデジタル変革（DX）】令和3・4年度 主な取組状況、今後の指標設定

1 震災からの復興・再生 新しい価値 浜通り地域への産業基盤の構築、全国から新たな活力の誘引

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
避難地域12市町村に係るデジタル情報発信の推進	全国の移住希望者に対して避難12市町村の情報発信、交流人口拡大や関係人口の創出、市町村における移住体験、受入体制の構築など、移住推進の各フェイズにおいてデジタルメディアを活用する。	●移住希望者に対して情報発信を行うため、ポータルサイトの作成等を行った。

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
ふくしま12市町村移住ポータルサイトのページビュー（PV）数	100万件 （R3年度）	146.1万件 （R7年度）

2 地方創生・関係人口の創出 新しい価値 関係人口の拡大とそれを活用した地域課題の解決、効果的・効率的な情報発信

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
リモートワーク等を活用した副業人材による地域課題の解決	都市部において自らのスキル等を地方での課題解決にいかしたいと考える情熱を持った人材と県内事業者をマッチングし、リモートワーク等を活用した副業プロジェクトによる関係づくりを促進していく。	●課題解決プロジェクト数：121件（2/15現在） ●プロジェクト参加者数：110人（2/15現在） ●交流ツアー実施：2回 ●啓発セミナー実施：6回

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
課題解決プロジェクト参加者数	121人 （R3年度）	160人 （R7年度）

3 教育・人材育成

新しい価値

多様な子どもたちに個別最適化された学びの実現、企業等におけるデジタル人材の底上げ

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
小学校及び中学校におけるデジタル技術を有効に活用した授業の実践	端末や環境が異なったとしても、県内どこにいても実践できる事例を集め、広く周知することで、児童生徒の資質・能力の育成に寄与する。(AIドリル導入実験等)	<ul style="list-style-type: none"> ●運営協議会(3回) ●地区別研究協議会(7地区各2回ずつ 計14回) ●公開授業研究会(7地区 小・中1回ずつ 計14回)

指標名	基準値(基準年度)	目標値(目標年度)
教員のICT活用指導力(授業にICTを活用して指導する能力)	65.3%(R2年度)	85%(R7年度)

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
テクノアカデミーを中心としたデジタル人材育成	テクノアカデミーにおける最新機器整備や活用、AI・IoT活用に向けたプログラミング技術習得等による若年層のDX人材の育成に加え、県内中小企業(製造業)を対象としたデジタル化に向けた理解醸成等を推進していく。	●令和4年度から取組を推進

※ KPIの設定がなじまない取組項目

4 産業振興

新しい価値

中小企業、農林漁業者等の経営の効率化、競争力強化、担い手の確保

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
ハイテクプラザを中心とした企業のデジタル変革（DX）支援	ハイテクプラザにおいて、研究会運営やAI・IoT実証設備の活用により、普及啓発から人材育成、技術支援までを一体的に実施する。	●AI・IoTに係る技術相談、導入検証・技術開発サポート、技術セミナー、技術トレーニング及びワーキンググループ等の実施

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
技術支援を受けた企業が、実際にAI・IoT製品や技術等を自社に導入するに至った件数	2件 (R3年度)	8件 (R7年度)

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
スマート農業の推進	農業生産の効率化、高収益化を図るため、スマート農業技術を活用した実証研究を行うとともに、先端技術の現地での実証を通じた普及活動を行う。	●スマート農業の実証研究：1課題 ●先端技術の普及拠点設置：21か所 ●園芸産地モデル実証：2地区

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
スマート農業等技術を導入した経営体数	525経営体 (R2年度)	810経営体 (R7年度)

5 健康・医療・福祉

新しい価値

医療、介護等サービスの向上、従事する職員の負担軽減、
担い手不足の解消

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
介護施設へのロボットやデジタル技術の導入推進	介護支援ロボット導入やICTを活用した通信環境の整備、業務改善支援など、介護現場における生産性向上の取組を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●介護ロボットの普及啓発 ●介護ロボット導入補助 ●ICT導入補助 ●業務改善補助

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
介護ロボットやICT機器の導入施設数	172施設 (R2年度)	391施設 (R7年度)

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
スマートフォンアプリを活用した健康増進	県民が健康づくりに参加しやすいよう、インセンティブを付与する仕組みを取り入れた「健民アプリ」の活用や深化、市町村と連携した「ふくしま健民パスポート」事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●職域と連携した、企業対抗バーチャルウォーキング大会の開催。

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
ふくしま健民アプリのダウンロード数	48,441件 (R2年度)	98,441件 (R7年度)

6 安全・安心、環境

新しい価値

社会の強靱化、安全・安心な暮らしの実現

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
VR等体験型防災講座の推進	基本的な防災知識を身につけ、最新の防災や防災に関する課題を学ぶとともに、web上でVRや防災講座を体験できる環境を構築し、防災学習ができる環境を整備することで正確な防災行動を起こせる県民を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校等を対象とした「防災出前講座」、小学生家族を対象とした「家族で学ぶ防災セミナー」、「危機管理センター見学」の実施 ※それぞれにおいてVRを活用した防災講座を実施

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
出前講座等を通じ防災に関し啓発を行った人数	5,000人 (R3年度)	8,000人 (R7年度)

項目	R3・R4取組内容	成果・効果
スマートフォンアプリを活用した地球温暖化対策等の推進	スマートフォンアプリを活用するなどして、ごみ減量化、省エネルギー、環境保全活動に関する取組を広げ、環境に負荷をかけないライフスタイルの普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●アプリの運用開始

指標名	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
福島県環境アプリの累計ダウンロード数	10,000ダウンロード (R3年度)	100,000ダウンロード (R7年度)